



第36回防衛問題セミナー



テーマ：大雨被害から考える 防災と自衛隊の災害派遣

北海道防衛局は、平成29年6月27日（火）富良野文化会館大会議室において、「大雨被害から考える 防災と自衛隊の災害派遣」をテーマに、国土交通省北海道開発局札幌開発建設部の村山事業調整官と陸上自衛隊第4特科群長兼上富良野駐屯地司令の岸良1等陸佐を講師にお迎えし、富良野市、富良野商工会議所、富良野地方自衛隊協力会及び自衛隊旭川地方協力本部の後援をいただき、第36回防衛問題セミナーを開催いたしました。



主催者挨拶
北海道防衛局
吉田 局長



後援者ご挨拶
富良野市
能登 市長

講 師



国土交通省北海道開発局
札幌開発建設部
村山 事業調整官



第4特科群長兼
上富良野駐屯地司令
岸良 1等陸佐

セミナーでは、第1部として、村山事業調整官から「札幌開発建設部における災害支援と石狩川下流の減災に係る取組み」と題し、災害時の応急対策支援の活動状況、昨夏の台風による空知川の被害状況や今後の治水対策について、第2部として、岸良1佐から「陸上自衛隊の災害派遣活動」と題し、昨年の熊本地震や富良野地方における水害で活動した状況や経験談について、それぞれ約45分間の講演がなされました。



会場の様子

今回のセミナーには、ほぼ満席に近い約160名の方々にご来場いただき、皆様からは「水害に対する防災について理解が深められた。」「自衛隊の即応態勢や備えの重要性について理解できた。」など多くの感想が寄せられました。

当局では今後も、道内の皆様に防衛省の政策、自衛隊の活動等について、理解を深めていただくため、各地で防衛問題セミナーを開催していく予定です。